

2021（令和3）年度
事業報告書

自 2021年4月 1日
至 2022年3月31日

公益財団法人日本デザイン振興会

①グッドデザイン賞事業

2021年度グッドデザイン賞も、前年度に引き続き審査委員長に安次富隆氏、審査副委員長に齋藤精一氏を迎えた。2019年の「共振」、2020年の「交感」を踏まえ今年度のテーマは「希求と交動」とした。これはコロナ禍のもと表層化してきた人々の「希求」を、様々な人々による「交動」を通じて問題解決を導き、さらには新しい価値を生み出して行きたいという願いが込められている。各審査プロセスやイベントの実施においては、新型コロナウイルス感染拡大予防措置を十分にとりつつ、グッドデザイン賞が持つ「発見」「共有」「創造」のサイクルをより拡充させることに努めた。

応募と受賞

2021年度グッドデザイン賞は4月1日から募集を開始し、5,835件のデザインに対して審査を行い、10月20日に1,608件の受賞およびベスト100ならびに金賞、グッドフォーカス賞の特別賞を発表した。また、11月2日にはグッドデザイン大賞を発表した。

審査対象数：5,835件
受賞数：1,608件
受賞企業数：1,101社

特別賞の内訳

グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）：1件
グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）：19件
グッドフォーカス賞【新ビジネスデザイン】：3件
（経済産業省 大臣官房 商務・サービス審議官賞）
グッドフォーカス賞【技術・伝承デザイン】：3件
（中小企業庁長官賞）
同【地域社会デザイン】：3件（日本商工会議所会頭賞）
同【防災・復興デザイン】：3件（日本デザイン振興会会長賞）

審査体制

多様な応募対象を適切に審査するために、2021年度も様々な領域の専門家を新たに迎えて総勢88名の審査体制を整えた。さらに、審査委員会とは別に「デザイン・クリティーク・プロジェクト」として、
伊藤亜紗氏（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授）
中村寛氏（多摩美術大学教授）
を迎え、グッドデザイン賞やデザイン分野に対する俯瞰的な視点と考察を得た上で、複合的に議論を重ねた。

グッドデザイン・ベスト100

すべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、特に高い評価を得た100件を「グッドデザイン・ベスト100」として選出した。グッドデザイン・ベスト100は、今後各分野を先導する起点となりうるデザインとしてグッドデザイン大賞や金賞などの特別賞候補と位置づけられる。特別賞選考の最終プロセスとして、「ベスト100プレゼンテーション審査」を行い、その後特別賞審査会を実施した。



GOOD
DESIGN



グッドデザイン賞二次審査会場（愛知県国際展示場）



ベスト100プレゼンテーション後の特別賞審査会

グッドデザイン大賞

グッドデザイン大賞は、すべての受賞デザインの中から1件が選ばれ、テーマ性・時代性・社会性などの面でその年度のシンボルとなるデザインとして位置付けられる。2021年度は10月20日に5件のファイナリスト（大賞候補）を発表。11月2日、グッドデザイン賞の審査委員と受賞者による投票を実施し、グッドデザイン・ベスト100を中心とした受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2021」の来場者による投票も加算した結果、株式会社オリィ研究所の「遠隔就労・来店が可能な分身ロボットカフェ [遠隔勤務来店が可能な「分身ロボットカフェDAWN ver.β」と分身ロボットOriHime]」が選出された。

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞は、ユーザーから長年にわたり支持されるデザインを讃えるとともに、よいものを長く使い続けることの意義を社会に示す賞である。2021年度はユーザー推薦および製造者等から応募された120件の中から、審査の結果22件が受賞した。また、受賞展「ロングライフデザイン賞2021 もののまわり」では、ナガオカケンメイ氏が率いるD&DEPARTMENTプロジェクトと協業し、受賞者への取材を軸にした受賞展示と媒体発刊を組み合わせた独自の受賞プロモーションを展開した。

会期：12月23日～1月30日

会場：GOOD DESIGN MARUNOUCHI

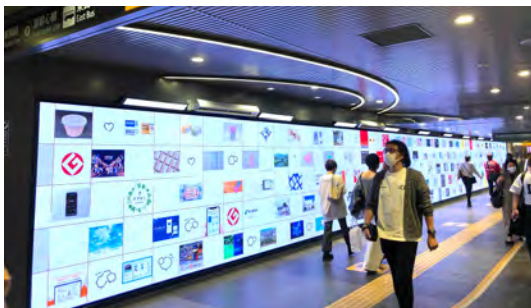
GOOD DESIGN SHOW 2021

受賞プロモーションの中核企画として、オンラインとリアルハイブリットイベントを10月20日から11月21日まで開催した。オンラインではグッドデザイン大賞選出会を関係者にライブ配信したほか、受賞者や審査委員など多彩なゲストを招いたトークイベントなどを実施、リアルでは「グッドデザイン・ベスト100」に選出された受賞デザインの展示「GOOD DESIGN EXHIBITION 2021」を、東京ミッドタウン・デザインハブにて実施した。また、初めての試みとして東京・渋谷駅、大阪・梅田駅にて受賞対象全件を紹介する大型のデジタルサイネージ広告を展開した。

会期：10月20日～11月21日

会場：特設ウェブサイトおよび東京ミッドタウン・デザインハブ

受賞展示期間来場者数：7,373人（事前予約による人数制限実施）



受賞発表のデジタルサイネージ広告（JR渋谷駅）



グッドデザイン大賞選出



グッドデザイン大賞「分身ロボットカフェDAWN ver.β」



ロングライフデザイン賞受賞展



「GOOD DESIGN SHOW 2021」特設サイト



GOOD DESIGN EXHIBITION 2021

私の選んだ一品「社会のピント」展

グッドデザイン賞審査委員の個人的お気に入りの最新受賞作をコメントとともに紹介する「私の選んだ一品」の展示をGOOD DESIGN MARUNOUCHI にて行った。

会期：10月20日～11月24日

会場：GOOD DESIGN MARUNOUCHI

フォーカス・イシュー

フォーカス・イシューは、グッドデザイン賞受賞対象の中から、今後の社会におけるデザインの役割と可能性を見出す取り組みである。7年目となる2021年度は、5人のフォーカス・イシュー・ディレクターが各々の問題意識に基づいてテーマを設定し、受賞デザインを読み解き、提言をまとめた。新たにウェブ・デザインメディアのdesigning とコラボレーションし、記事の同時掲載などを実施した結果、昨年度から立ち上げた特設ウェブサイトのビュー数が約3.6倍となるなど、大幅な読者層の拡大につながった。

■2021年度フォーカス・イシューおよびディレクター

「完成しないデザイン」 飯石 藍 (都市デザイナー)

「将来世代とつくるデザイン」 石川善樹 (予防医学研究者)

「時間がかかるデザイン」 田中みゆき
(キュレーター/プロデューサー)

「まなざしを生むデザイン」 原田祐馬
(アートディレクター/デザイナー)

「共生のためのデザイン」 ムラカミカイエ
(デザイナー/クリエイティブディレクター)

説明会・報告会

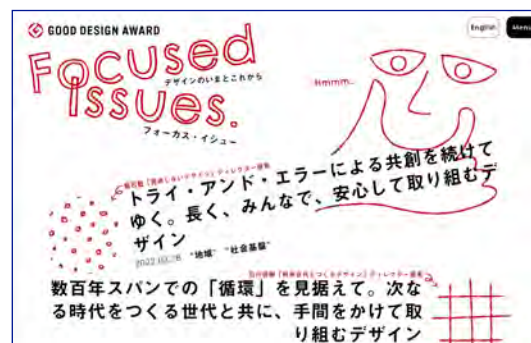
グッドデザイン賞の理念や応募方法を解説する「応募説明動画」を制作・配信した。またオンライン個別相談会や審査の視点を審査委員自らが解説するオンラインセミナーを3回開催しアーカイブ配信もおこなった。その結果、応募期間のグッドデザイン賞関連コンテンツの視聴件数は52,000件となった。中国向けには、説明会およびセミナーを7回実施し、延べ約48,000人が視聴した。受賞発表後には、審査報告会を18審査ユニット分開催しオンライン配信を行い、延べ約4600人が視聴した。また、「note」で要点をまとめた記事を掲載し、延べ約550件の「スキ」を獲得した。

出版

2021年度受賞デザイン全件を掲載した受賞年鑑『GOOD DESIGN AWARD 2021』を、2022年3月に発刊した。



私の選んだ一品展



フォーカス・イシュー特設サイト



2021年度フォーカス・イシュー・ディレクター



受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2021」

グッドデザイン大賞・金賞・特別賞

グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）

- ・遠隔勤務来店が可能な「分身ロボットカフェDAWN ver.β」と分身ロボットOriHime／株式会社オリイ研究所

グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）

- ・使い捨て長袖プラスチックガウン easy脱着ガウン／株式会社ミヤゲン
- ・Stroller POCKIT GO／Goodbaby Child Products Co., Ltd
- ・コンソールゲーム機 プレイステーション®5／ソニー・インタラクティブエンタテインメント
- ・移動型X線透視撮影装置 FUJIFILM DR CALNEO CROSS／富士フイルム株式会社
- ・モジュール式ソファ マジス コスチューム／Magis Japan株式会社
- ・コンバートEV OZ MOTORS EV CONVERSION／オズモーターズ
- ・雪上車 NAVi（開発コード）／株式会社大原鉄工所
- ・活動支援モビリティ クーポ／スズキ株式会社
- ・社会課題を解決するNLJ幹線輸送シェアリングスキーム／NEXT Logistics Japan株式会社
- ・小さくても地域の備えとなる災害支援住宅 神水公衆浴場／株式会社ワークヴィジョンズほか
- ・都市におけるセンターオフィスの再定義 THE CAMPUS／コクヨ株式会社
- ・高級ヴィラリゾート施設 伝泊 The Beachfront MIJORA／奄美イノベーション株式会社
- ・まちづくり ジョンソントウン／株式会社磯野商会＋渡辺治建築都市設計事務所
- ・会員制搜索ヘリサービス ココヘリ／オーセンティックジャパン株式会社
- ・3D都市モデル PLATEAU[プラトール]／国土交通省都市局 都市政策課
- ・浅間北麓の地域資源の価値化とキャンプ場等の場づくりを軸にした循環型地域未来創造事業／有限会社きたもっく
- ・Regional Activity Taitung Slow Food Festival／Co-create Planning & Design Consultancy
- ・The best sustainability-oriented organizational adaptation to climate change／Hair O'right International
- ・Education kit for Migrants Book & Host Project for Migrants／One-Forty

グッドフォーカス賞【新ビジネスデザイン】（経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞）

- ・音声ARアプリ Locatone／ソニー株式会社＋ソニーグループ株式会社＋株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ
- ・コーヒー生豆オンラインプラットフォーム TYPICA／TYPICA株式会社
- ・保育施設 スマート保育園®／ユニファ株式会社

グッドフォーカス賞【技術・伝承デザイン】（中小企業庁長官賞）

- ・ぬかみそ桶 ぬか櫃／有限会社樽富かまた
- ・手で切れる緩衝材 スパスパ／川上産業株式会社
- ・ミラーレスカメラ用レンズ SIGMA Iシリーズ／株式会社シグマ

グッドフォーカス賞【地域社会デザイン】（日本商工会議所会頭賞）

- ・長距離列車 WEST EXPRESS 銀河／西日本旅客鉄道株式会社
- ・ホテル Luxury hotel SOWAKA／株式会社畑中＋株式会社魚谷繁礼建築研究所
- ・幼稚園 小郡幼稚園／学校法人片山学園＋有限会社無有建築工房＋株式会社安成工務店＋岡崎木材工業株式会社

グッドフォーカス賞【防災・復興デザイン】（日本デザイン振興会会長賞）

- ・壁面収納式担架 ラピッドレスキュー／株式会社久米設計＋株式会社ユニオン
- ・高田松原津波復興祈念公園 国営 追悼・祈念施設／株式会社ブラック研究所＋株式会社内藤廣建築設計事務所
- ・防災意識向上、災害対策のための取り組み コメリ災害対策センター／株式会社コメリ

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞（日本デザイン振興会会長賞）

- ・鉛筆 マルス ルモグラフ 高級鉛筆／ステッドラー日本株式会社
- ・手帳 ほぼ日手帳／株式会社ほぼ日
- ・紙製食器(非木材) WASARA／株式会社WASARA
- ・木製食器（お椀） めいぼく 椀シリーズ／菌部産業株式会社＋有限会社クラフト木の実＋神奈川県工芸指導所
- ・珪瑯キッチン用品 kaico ケトル／昌栄工業株式会社
- ・真空断熱ボトル MMP型、MMZ型／タイガー魔法瓶株式会社
- ・温度計 料理用温度計 5496B／株式会社タニタ
- ・ドライバー ボールグリップドライバー／株式会社ベッセル＋株式会社ベッセル工業
- ・レコード MPカートリッジ NAGAOKA カートリッジ MPシリーズ／株式会社ナガオカ
- ・キャンプ用焚き火台 焚火台／株式会社スノーピーク
- ・スニーカー アディダスオリジナルス スタンスミス／アディダス ジャパン株式会社
- ・扇風機 ザ・グリーンファン／バルミューダ株式会社
- ・スツール メトロクス リキスツール／株式会社メトロポリタンギャラリー
- ・商用車 ハイゼット／ダイハツ工業株式会社
- ・鉄道の運行異常時における旅客案内 異常時案内用ディスプレイ／株式会社日立製作所＋東日本旅客鉄道株式会社
- ・ショーウィンドウ 和光のショーウィンドウ／株式会社和光
- ・家具ブランド 株式会社 石巻工房／株式会社石巻工房
- ・自転車 トーキョーバイク／株式会社トーキョーバイク
- ・コミュニティバス ムーバス／武蔵野市
- ・二次元コード QRコード／株式会社デンソー＋株式会社デンソーウェーブ
- ・遠隔教育 放送大学／放送大学学園
- ・国際客船ターミナル 横浜港大さん橋国際客船ターミナル／横浜市

審査委員長メッセージ「希求と交動」

いま、私たちはコロナ禍の中に居ます。

その中で、誰もが人類は大きな転換期に直面していると感じているのではないのでしょうか？

多くの人々が、災難が過ぎ去るのをじっと待つのではなく、これまでの人類史を振り返り、内省する中から、知恵や技術を動員し、新たな未来を切り拓くことを願い、望んでいます。そのような、人々の希求こそが、これから先の人類へと導く原動力になります。



安次富 隆 審査委員長

希求という言葉には、祈るような切実な気持ちが籠められています。

希求しているのは人ばかりではありません。

これまでも、人や社会、自然が希求していることはありました。

しかし、声高な要求や欲求の翳に隠れて見えづらかったのだと思います。

奇しくも私たちの活動が、なかば強制的に制限されたことによって、一つひとつの希求が鮮明に見えるようになりました。

いままさに、その静かに希う（こいねがう）気持ちを丁寧に掬い取ることが求められているように思います。そのために、私たちが積極的に交わって感じ合う、交感することが大切なのです。

それにより得られた様々な希求を交え、達成へ向けて動かす、いわば「交動」が、これからのデザインの行為と形象として表れてくるに違いありません。

グッドデザイン賞ではそこに目を向けてキャッチしたいと考えています。

デザインが発する未来への提起にどれだけ共感し応援できるかが、グッドデザイン賞で議論すべきポイントです。

デザインという具体的な存在を通して応募者と審査委員の対話を重ね、お互いの理解を深めて見出されるグッドデザインの総体は、次の時代を拓く力強いメッセージとなり得るのではないのでしょうか。

人類繁栄の背景には、禍いを福に変えてきた確かな歴史があります。

禍いから学び、次のステップに進むための知恵と技を人は持っているからこそ、デザインが生まれるのだと思います。

問題を解決するだけでなく、新しい価値を創造していくことがデザインの使命です。

これからの福とは何なのか？そのためには何をどうデザインすべきなのか？

多種多様なデザインが会合するグッドデザイン賞を、そのようなテーマを論じ合える場としたいと願っています。

ぜひ、多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

2021年4月1日

審査副委員長メッセージ「交動と希求」

ものごとを創造できる人間は、
社会にとってどんな役割を担うべき存在であるのか？
いま人間に何ができるのか？
具体的に世界をどう変え、社会をどこに向かわせるべきなのか？

我々の生活や世界を変え続けている新型コロナウイルスとの闘いから、何を学び、何を考え、様々な苦しみや悲しみを乗り越えて、どのようにその経験を受け継いでいくのか？

多くの災害で苦しんだこと、悲しんだこと、今なお続くそこからの復興に対して何ができるのか？

身の回りで、遠い世界のどこかで困っている人たちに対して何をすべきなのか？



齋藤 精一 審査副委員長

沢山の答えのない疑問、「？」が私の中でも次々と生まれています。それは、デザインという創作と社会実装に関わる多くの人の中でも同じようにうごめいていることと思います。

デザインは、小さな力を確かなうねりに変え、社会をより良く変える新しいものごとを生み出して行きます。

グッドデザイン賞は2019年に「共振」、2020年に「交感」を、それぞれテーマにしてきました。これらのテーマを通して、私たちが他者や様々なものごとと積極的に関わり、行動を起こす中から生まれてくるデザインに目を向けてきました。そして、モノのデザイン・コトのデザイン・プロセスのデザイン・意識のデザインなど沢山の素晴らしいデザインに出会い、それらが少しずつ確かなうねりになる瞬間も見てきました。

本年度のテーマの一つである「交動」は、さらに広い範囲で人々の間に交感が起こり、それが確かなうねりへと育つよう、「希求」はさらに大きなうねりを起こすために人類が目指すべき方向＝アウトカムのデザインを示しています。

デザインは、本来希望に満ちているものです。モノやコトを創造できる人間は、何らかの方法で様々な問題を解決しようと志しているはずです。しかし、実践へと踏み出そうとしたとき、その拠り所となる思想や哲学にまだばらつきがあるように感じます。地球環境改善への取り組み、幸福の定義、テクノロジーに代表される新しい手法との接し方などは、業界や分野、企業や個人といったフレームごとに、お互いに異なったまま推し図られています。

これまで広く多くのデザインを横断的に見続けてきたグッドデザイン賞の役割として、審査を通じて、現時点で人類や社会が望む、進むべき方向を見出せるよう交動を進めるとともに、私たちが切に請い願う、希望の持てる方向をも示せるように貢献していきたいと考えています。

本年も沢山のグッドデザインに出会えることを心から楽しみにしております。

2021年4月1日

審査委員会

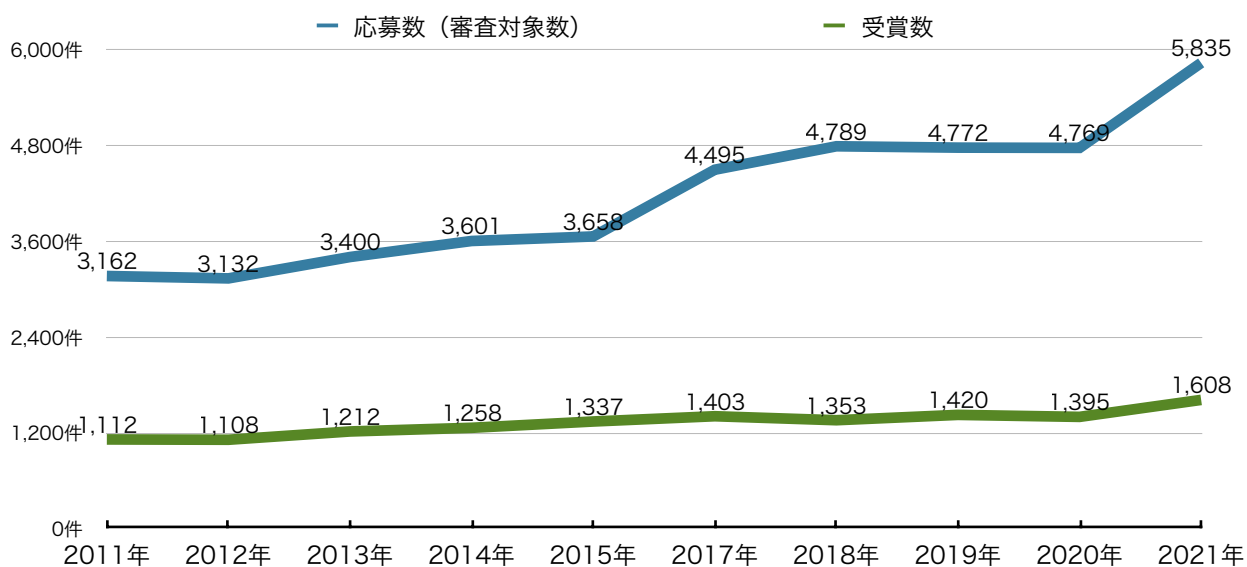
審査委員長 安次富 隆（プロダクトデザイナー） 審査副委員長 齋藤 精一（クリエイティブディレクター）

審査委員

●ユニットリーダー ○フォーカス・イシュー・ディレクター		
ユニット01：身につけるもの	ユニット02：パーソナルケア用品	ユニット03：文具・ホビー
●本田 敬 プロダクトデザイナー 安東 陽子 テキスタイルデザイナー／コーディネーター 岡本 健 グラフィックデザイナー 服部 滋樹 デザイナー／クリエイティブディレクター	●石川 俊祐 デザインイノベーション 秋山 かおり プロダクトデザイナー ○石川 善樹 予防医学研究者 中坊 壮介 プロダクトデザイナー	●佐々木 千穂 ユーザーエクスペリエンスデザイナー 色部 義昭 グラフィックデザイナー／アートディレクター 倉本 仁 プロダクトデザイナー 橋倉 誠 プロダクトデザイナー
ユニット04：生活用品	ユニット05：家電	ユニット06：映像／音響／情報機器
●辰野 しずか クリエイティブディレクター／デザイナー 大友 学 デザイナー／ブランドディレクター ○原田 祐馬 アートディレクター／デザイナー 山田 遊 バイヤー	●三宅 一成 デザイナー 鈴木 元 プロダクトデザイナー 玉井 美由紀 CMFデザイナー 安井 重哉 UIデザイン研究者	●渡辺 弘明 インダストリアルデザイナー 小林 茂 イノベーションマネジメント研究者 手槌 りか プロダクトデザイナー 林 信行 ジャーナリスト／コンサルタント Miles Pennington 教育イノベーター 山崎 宣由 プロダクトデザイナー／UXデザイン研究者
ユニット07：産業／医療 機器設備	ユニット08：住宅設備	ユニット09：家具・オフィス／公共 機器設備
●朝倉 重徳 インダストリアルデザイナー 林 千晶 プロジェクトマネージャー 村上 存 設計工学研究者 村田 智明 プロダクトデザイナー	●橋田 規子 プロダクトデザイナー 安積 伸 プロダクトデザイナー 二俣 公一 空間・プロダクトデザイナー 賀角 光伸 プロダクトデザイナー	●五十嵐 久枝 インテリアデザイナー 佐藤 弘喜 デザイン学研究者 田子 學 アートディレクター／デザイナー 藤城 成貴 プロダクトデザイナー
ユニット10：モビリティ	ユニット11：建築（戸建て住宅～小規模集合・共同住宅）	ユニット12：建築（中～大規模集合・共同住宅）
●根津 孝太 クリエイティブコミュニケーター 内田 まほろ キュレーター 森川 高行 モビリティデザイナー 森口 将之 モビリティジャーナリスト	●藤原 徹平 建築家 網野 禎昭 建築設計／研究者 千葉 学 建築家 手塚 由比 建築家	●猪熊 純 建築家 駒田 由香 建築家 林 厚見 建築／都市プロデューサー 山崎 健太郎 建築家
ユニット13：建築（産業／商業施設）	ユニット14：建築（公共施設）・土木・景観	ユニット15：メディア・コンテンツ
●原田 真宏 建築家／大学教授 芦沢 啓治 建築家／デザイナー 永山 祐子 建築家 吉田 愛 建築家	●伊藤 香織 都市研究者 五十嵐 太郎 建築評論家 西村 浩 建築家・クリエイティブディレクター 平賀 達也 ランドスケープアーキテクト	●佐々木 康晴 クリエイティブディレクター 鹿野 護 デザインディレクター 木住野 彰悟 アートディレクター／グラフィックデザイナー ○ムラカミ カイエ デザイナー／クリエイティブディレクター
ユニット16：システム・サービス	ユニット17：地域の取り組み・活動	ユニット18：一般向けの取り組み・活動
●内田 友紀 都市デザイナー 緒方 壽人 デザインエンジニア 太刀川 英輔 デザインストラジスト／進化思考提唱者 長田 英知 ストラジスト	●山出 淳也 アーティスト ○飯石 藍 都市デザイナー 岩佐 十良 クリエイティブディレクター、編集者 山阪 佳彦 クリエイティブディレクター	●ナカムラ ケンタ 編集者／求人屋 井上 裕太 プロジェクトマネージャー ○田中 みゆき キュレーター／プロデューサー 西田 司 建築家 廣田 尚子 デザインディレクター
韓国ユニット	台湾ユニット	中国ユニット
Byung-wook Chin インダストリアルデザイナー Jongrae Park デザイナー	Shu-chang Kung 建築家／インテリアデザイナー Chi mei Chang グラフィックデザイナー Manfred Wang プロダクトデザイナー	Xiaoxi Shi インダストリアルデザイナー Gary Chang 建築・インテリアデザイナー Huiming Tong インダストリアルデザイナー Carl Liu デザインディレクター Jian Liu 都市プランナー／デザイナー Xiaoxi Shi インダストリアルデザイナー
海外デザイン賞との連携応募ユニット	グッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員会	
手槌 りか プロダクトデザイナー（タイ） 三宅 一成 デザイナー（シンガポール） 橋倉 誠 プロダクトデザイナー（インドネシア）	安次富 隆 プロダクトデザイナー 齋藤 精一 クリエイティブディレクター 藤本 幸三 アーティスティック・ディレクター 柳沼 周子 チーフバイヤー	

事業実績

グッドデザイン賞応募数、受賞数の推移



都道府県別受賞件数

北海道	5	埼玉県	29	岐阜県	22	島根県	1	佐賀県	2
青森県	1	千葉県	21	静岡県	24	鳥取県		長崎県	2
岩手県	6	東京都	673	愛知県	56	岡山県	8	熊本県	10
宮城県	10	神奈川県	61	三重県	4	広島県	12	大分県	6
秋田県	2	新潟県	37	滋賀県	4	山口県	7	宮崎県	2
山形県	6	富山県	17	京都府	30	徳島県	1	鹿児島県	5
福島県	5	石川県	7	大阪府	164	香川県	2	沖縄県	4
茨城県	4	福井県	12	兵庫県	25	愛媛県	4		
栃木県	7	山梨県	2	奈良県	4	高知県	2		
群馬県	6	長野県	17	和歌山県	8	福岡県	19		

国・地域別受賞件数

オーストラリア	1	カナダ	4	中国	190	ドイツ	5	香港	10
インド	2	インドネシア	7	イスラエル	1	マレーシア	1	オランダ	1
ポーランド	1	シンガポール	4	韓国	17	スウェーデン	3	スイス	1
台湾	85	タイ	22	英国	4	アメリカ	41	日本	1,241

スケジュール

4月1日 - 5月26日	グッドデザイン賞およびロングライフデザイン賞の応募受付期間
4月1日 - 4月30日	ロングライフデザイン賞ユーザーからの推薦期間
6月9日 - 7月1日	一次審査期間
7月2日	一次審査結果通知
7月10日 - 9月1日	二次審査期間
8月17日 - 8月19日	二次審査会、ベスト100選考会
8月28日	グッドデザイン賞確定会
9月2日	二次審査結果通知
9月30日	グッドデザイン・ベスト100デザイナーズプレゼンテーション
9月30日	特別賞審査会
10月20日	受賞発表（グッドデザイン賞、グッドデザイン・ベスト100、グッドデザイン金賞ほか特別賞）
10月20日 - 11月21日	GOOD DESIGN SHOW 2021
10月20日 - 11月21日	GOOD DESIGN EXHIBITION 2021展
10月20日 - 11月24日	「私の選んだ一品 2021」展
12月23日 - 1月30日	「ロングライフデザイン賞2021もののまわり」展
2022年3月	受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2021」発刊



②海外事業

2021年度も引き続きコロナ禍中であつたが、グッドデザイン賞を軸とした国際交流活動を可能な限り展開した。新型コロナウイルス感染拡大による海外への渡航は引き続き制限されている中でも、日本デザインに対する注目度と関心は高く、オンラインツールを駆使して、各国や地域のデザイン組織との交流や良好な関係の維持に積極的に取り組んだ。

デザイン賞連携・運営支援

各国の産業振興及びデザイン振興を目的とした「デザイン賞連携」は、タイ「デザインエクセレンスアワード」、インド「インディアデザインマーク」、シンガポール「シンガポールグッドデザインマーク」、トルコ「デザインターキー」及びインドネシア「グッドデザインインドネシア」の5カ国で実施している。

2021年度も賞連携を実施し、各国アワードの受賞者によるグッドデザイン賞への応募があり、35件が受賞となった。受賞展はグッドデザイン・ベスト100を中心とした展示に変更したため、これまで実施されていた「デザイン賞連携によるブース展示」も一時休止となったが、代替策として「受賞全件を画像で紹介するバナー」を展示会場に掲出し、各国の受賞対象を紹介した。

また、2021年9月には、前年度のグッドデザイン賞受賞対象を紹介する展示ブースをタイ「Isan Creative Festival」に出展。2021年12月にタイ・チェンマイで実施された「チェンマイ・デザイン・ウィーク」では、オンラインセミナーに当会よりグッドデザイン賞審査委員の太刀川英輔氏を派遣し、オンラインセミナーを実施した。

国際交流

日本デザイン振興会の加盟する国際デザイン団体の1つであるWorld Design Organization(WDO)は、現在約40の国・地域から180の団体や教育機関・企業等がメンバーとなり、日本からは当会と日本インダストリアルデザイン協会(JIDA)、千葉大学、武蔵野美術大学、多摩美術大学がメンバーとなっている。

2019年から2年間、当会よりBoard Member(理事)として参画した津村真紀子は、2期目も理事として当選し引き続き活動を継続する。2023年に行われる総会「World Design Assembly」(WDA)を東京に招致するべく入札を行い、スペインのアリカンテと最終候補地として争った結果、東京での開催が決定した。WDAは総会の開催に合わせて、デザインに関する研究発表の場である「Research & Education Forum」と、デザイン・カンファレンスを含んだ3日間のプログラムで、2023年10月下旬の開催が予定されている。開催テーマを「Design Beyond」とし、時代が大きく変わろうとしている今、デザインが何を目指すべきなのかを問う国際会議として今後計画を進めていく予定である。

国際機関日本アセアンセンターとの協業により、フィリピン、ラオス、カンボジア王国とのデザインプロモーションにおける相互協力に関する覚書を更新し、デザイン賞設立・運営協力に向けたプロジェクトをスタートした。とくにフィリピンにおいては、Good Design Award Philippinesがローンチし、実施に際しての



タイ Isan Creative Festival 2021 の様子



2023年WDAの開催地が東京に決定



2021-2023年 WDO理事

助言を行った。3月にはアセアンセンター主催による「ASEAN Design Forum」（オンライン開催）に協力し、タイ・シンガポール・インドネシアからのグッドデザイン賞受賞者によるプレゼンテーション・セミナーを実施し、広くグッドデザイン賞受賞をアピールする機会を得た。

また、経済産業省中南米室の要請により、コロンビア・アルゼンチンなどにおけるデザイン振興政策に対する協力について意見交換を実施。10月にはアルゼンチン政府国家生産性開発省中小企業・起業家支援局主催のデザイン賞「Sello de Buen Diseño Argentino」のカンファレンス（オンライン開催）において日本におけるデザイン振興に関する講演を行った。今後の中南米各国でのデザイン振興での協力も視野に入れて話し合いを続けている。

台湾においては、台湾デザイン研究院に協力し、8月17日～11月14日まで、台湾デザインミュージアムにロングライフデザイン展を開催したほか、Taiwan International Student Design Competition (TISDC) に協力し、グッドデザイン賞審査委員の井上裕太氏が審査委員として参加。「JDP特別賞」として国立台湾科学技術大学の学生による作品を選出した。

インターナショナル・メディアパートナー

グッドデザイン賞の海外での影響力を強め、認知度を高めるため、2021年も応募初期段階から海外各国・地域のメディアパートナーと共同プロモーションを行った。中国の「日本設計小駅」と台湾の「秋刀魚」とは、応募期間からグッドデザイン賞のPRに積極的に取り組み、関心別テーマを設定したオンラインのセミナーや、グッドデザイン賞特集ページ掲載などを行った。

受賞発表段階では、グッドデザイン賞公式ウェブサイトと並行して海外に向けてオンラインで受賞結果を発表した。

またデザインメディア「designboom」においては、受賞作品の紹介記事を公開するなど、年間を通じてPRを行った。



オンライン・カンファレンス「ASEAN Design Forum」



台湾デザインミュージアムでのロングライフデザイン展



TISDCでJDP賞に選ばれたシンセサイザー



日本設計小駅（中国）への掲載



秋刀魚（台湾）への掲載



designboom への掲載

③広報事業

日本デザイン振興会では、様々なパートナーと連携し「場」を使ったプロモーション活動を積極的に行っている。2007年からは東京ミッドタウン・デザインハブとインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターを、2014年からはグッドデザイン賞受賞商品の販売を通じた広報機会としてGOOD DESIGN STOREの展開を、2015年からはGOOD DESIGN Marunouchiを開設し、展示会やセミナーなどを通じて様々なステークホルダーとともにデザインが持つ社会的価値を広く訴求している。

GOOD DESIGN Marunouchi

日本国内で初となる常設型の広報拠点としてオープンしたGOOD DESIGN Marunouchiは7年目を迎えた。2021年度も新型コロナウイルスの影響が長引く中、休廊や企画展の中止・延期に見舞われながらも、計13の企画展、家族向けワークショップや街のフィールドワークを計6回実施し、年間では約5万人が来場した。

グッドデザイン賞関連では、審査委員が受賞デザインから“一品”を選び紹介する展示、2015年からグッドデザイン賞が取り組む「フォーカス・イシュー」をデザインとともに辿る展示、また、デザインやものづくりの環境や背景に注目したロングライフデザイン賞受賞展など5企画を実施した。新たなデザインやプレーヤーを発掘する初の試みとして展示企画の公募を実施し、選出された「漫画とデザイン展」は1ヶ月で1.3万人と多くの来場者を集めた。

2020年度コロナ禍の中でスタートした、自然の恵み豊かな地域で暮らしに根ざしたデザインに取り組むプレーヤーを紹介するオンラインプログラム「山水郷チャンネル」は引き続き配信を継続。山・水・郷それぞれの地域を取材し地域とデザインの関係性を紐解く展示会も開催し、これまでの活動をまとめ、継続的発信を行うための専用ウェブサイトも新たに開設した。また、ギャラリー外の活動として、長浜カイコーで行われた「長浜デザイン今昔物語〜グッドなデザインは生活の中にある〜」へ展示協力を行った(22/2/26-3/13)。



フォーカス・イシューの展示



家族向けワークショップ



漫画とデザイン展

2021年度開催のGOOD DESIGN Marunouchi企画展示

名称	会期	実施主体	入場者数
山水郷のデザイン - 自立共生のためのナラティブ	4/9 ~ 6/20	JDP	3,127
よりそう・交感のグッドデザイン	6/24~7/10, 8/8-21	JDP	1,729
アジアデザイン賞 操縦するデザイン・未来を切り拓く	7/14 ~ 8/5	香港デザインセンター	1,465
グッドデザイン賞フォーカス・イシュー2015→2020 デザインの現在地	8/31 ~ 9/20	JDP	1,622
(No) Border展	9/23 ~ 29	東京藝術大学デザイン科	667
台湾デザインの祭典「未来の花見・台湾ハウス」東京展	10/2 ~17	台湾デザイン研究院	859
私の選んだ一品「社会のヒント」	10/20~11/24	JDP	10,362
多摩美術大学環境デザイン学科 木の美展	11/28 ~ 12/7	多摩美術大学環境デザイン学科	850
GOOD DESIGN AWARD 2021 in 燕三条	12/9 ~ 19	公益財団法人燕三条地場産業振興センター	6,310
ロングライフデザイン賞2021 もののまわり	12/23 ~ 1/30	JDP	6,926

日本空間デザイン賞2021展	2/2 ～ 14	日本空間デザイン協会+日本商 環境デザイン協会	715
体験するエシカルデザイン in 有楽町	2/17 ～ 25	JDP	444
第1回企画展公募選出企画「漫画とデザイン展」	2/28 ～ 3/31	同展実行委員会+JDP	13,082

「山水郷チャンネル」配信実績（Youtube 総視聴回数 3.1万回）

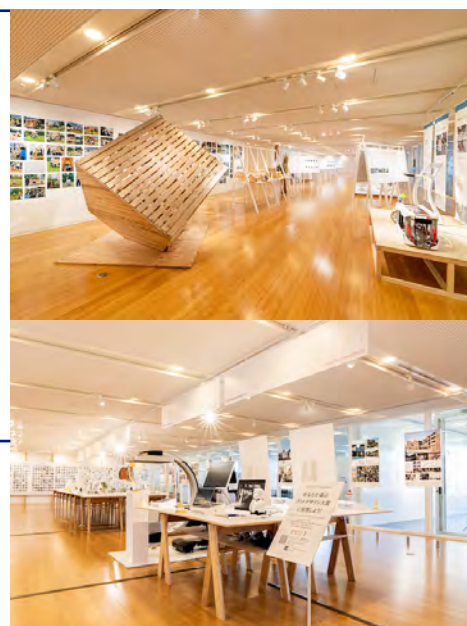
#41 内藤 廣（建築家・東京大学名誉教授）	#53 緒方 寿人（デザインエンジニア/Takram ディレクター）
#42 山崎 亮（コミュニティデザイナー・株式会社studio-L	#54 森本アリ（音楽家／「旧グッゲンハイム邸」管理/運営人）
#43 「城谷耕生、そのデザインと思想を振り返る」	#55 奥田 悠史（森林ディレクター・株式会社やまとわ 取締役）
#44 斎藤幸平 × 牧大介	#56 猪狩 僚（igoku創刊編集長・いわき市職員）
#45 蔡 奕屏（ツァイ イーピン）（ローカル系文化研究者）	#57 玉木新雄（tamaki niimeデザイナー・有限会社玉木新雄 代表）
#46 那珂 琴絵（オケクラフトセンター森林工芸館 どま 工房研究員(学芸員)）	#58 澤 秀俊（建築家・澤秀俊設計環境 / SAWADEE・NPO法人 活エネルギーアカデミー"Enepo"事務局）
#47 山出 淳也（アーティスト/NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事）	#59 渡邊 格（タルマーリー・オーナーシェフ）
#48 石井 拳之（株式会社仕立て屋と職人/デザイナー）	#60 佐藤祐輔(新政酒造株式会社 代表取締役)/富田泰伸(富田酒 造十五代蔵元 兼製造責任者)
#49 丑田 俊輔（シェアビレッジ株式会社 代表取締役 / ハ バタク株式会社 代表取締役 / プラットフォームサービス 株式会社 代表取締役）	#61 真鍋 太一（株式会社 フードハブ・プロジェクト 共同代表取 締役 支配人 / 株式会社モノサス デザイン係）
#50 秋吉 浩気（建築家 / メタアーキテクト / VUILD株式 会社代表取締役CEO）	#62 長浜カイコーオープン記念トーク（中山郁英/石井拳之/ 牛島隆敬/米澤 辰雄）
#51 高橋 慶彦（AGRIST株式会社 取締役 兼 最高執行責任 者）	#63 来嶋路子（編集者 / ミチクル編集工房 主宰）
#52 豊田雅子（NPO法人尾道空き家再生プロジェクト 代 表理事）	#64 佐藤伸彦（医師/ものがたり診療所 所長）

東京ミッドタウン・デザインハブ

日本デザイン振興会、日本グラフィックデザイン協会、TUB(2021年度より入居)の三者が構成するデザイン情報の発信拠点・東京ミッドタウン・デザインハブでは、コロナ禍による来場者数の減少はあるものの、ギャラリースペースでの企画展示やワークショップの開催、東京ミッドタウンとの共催による「東京ミッドタウン・デザイン部」活動、インターナショナル・デザイン・リエゾンセンターを活用した活動などを複合的に展開した。2020年度に引き続きオンラインイベントにも積極的に取り組み、様々な入り口から多くの方にデザインに触れ、理解を深める機会を提供している。

デザインハブ企画展示

2021年度は8本の企画展を開催、合計来場者数は約31,000人となった。当会は、東日本大震災以降10年のデザインをグッドデザイン賞を通して振り返る企画展のほか、グッドデザイン賞受賞展としてグッドデザイン・ベスト100の展示を実施。構成機関の合同展として「ゼミ展2022」を開催、夏のキッズウィークは感染症対策を実施して会場での開催とした。



2021年度開催のデザインハブ企画展示

名称	会期	実施主体	動員数
第90回企画展「JAGDAつながりの展覧会 パラチャリティ」	4/2～29	日本グラフィックデザイン協会	2,318
第91回企画展「東日本大震災とグッドデザイン賞 復興と新しい生活のためのデザイン」	5/18～7/5	日本デザイン振興会	4,203
第92回企画展「日本のグラフィックデザイン2021」	7/16～9/5	日本グラフィックデザイン協会	7,318
東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズワークショップ 2021	8/8～22	東京ミッドタウン・デザインハブ	268
特別展「六本木デザイナーズフラッグ・コンテスト 2009-2021」	9/10～10/10	六本木商店街振興組合	2,453
第93回企画展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2021」	10/20～11/21	日本デザイン振興会	7,785
第94回企画展「Tama Design University」	12/1～12/26	多摩美術大学 TUB	4,011
第95回企画展「ゼミ展2022」	1/10～2/15	東京ミッドタウン・デザインハブ	2,922

東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズワークショップ

東京ミッドタウン・デザインハブでは毎年8月、子供向けに気軽にデザインを体験いただくワークショップ企画「キッズデザインウィーク」を開催している。2021年度は計8企画23回を実施、延べ268名に参加いただいた。

2021年度実施のキッズワークショップ

名称	実施日	実施主体
親子で作るちいさな端切れのマスコット	8/8	and sewing+一般社団法人Spedagi Japan
作って、遊べる！親子で楽しむ電車ワークショップ！！	8/8,9	公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会
竹や多摩の自然素材でできたおもちゃで遊ぼう！	8/10	東京造形大学（スベダギバンブーバイクプロジェクト） +一般社団法人Spedagi Japan
八王子の和紙でオリジナル帽子をつくろう！	8/10	東京造形大学（スベダギバンブーバイクプロジェクト） +一般社団法人Spedagi Japan
夏だ！竹うちわを作ろう！	8/11	株式会社オープンハウス+一般社団法人Spedagi Japan
Tシャツは白いキャンバス—いろんな布で描こう、きみの夏	8/12,13,16	多摩美術大学 生涯学習センター
7つもの予測できないクリエイティブを体験／BOX ART＝昆虫と挿絵と型録でつくる玉手箱	8/15	アサコラ♡キッズ♡アトリエとRE-MAKES
夏休み！親子de わくわくワークショップ「あったらいいな、こんな店」	8/28,29	JCD 一般社団法人日本商環境デザイン協会

東京ミッドタウン・デザイン部

東京ミッドタウン・デザイン部は東京ミッドタウンとの共催による活動で、当会は企画・運営と事務局を担っている。2017年から始まった本活動は、東京ミッドタウンをはじめとする六本木エリアに仕事や暮らしの場を持つ方や来街者を対象に ①クリエイティブな視点を仕事や生活に活かす ②デザインを切り口としたサードプレイスの提供 を目的として、ギャラリーツアーやトークイベントなどを実施。2021年度もオンラインイベントを中心に実施した。

また、2019年度より実施している「リエゾンセンター・ライブラリー」は、JDPの蔵書や東京ミッドタウンが所有する書籍を活用して、ワーカーや施設来館者に対して、無料でデザイン関連書籍に触れることができる不定期のデザインライブラリーである。2021年度は103日間開室し約3,800名が来場した。デザイン関連書籍の新刊を紹介するオンラインイベントは通年で計13回開催した。



2021年度東京ミッドタウン・デザイン部開催企画

名称	実施日
「東京ミッドタウンStreet Museum 2021」ガイドツアー	4/5
「JAGDAつながりの展覧会 パラチャリティ」ギャラリーツアー	4/23
「折詰め会」 Vol.104 テーマ:「新しい和風について考える」	4/28
東日本大震災とグッドデザイン賞 復興と新しい生活のためのデザイン展 オープニングトーク	5/14
「デザインでひもとく 葛飾北斎」 - 「北斎のデザイン 富嶽三十六景から北斎漫画まで - デザイン視点で読み解く北斎の至宝」 発売記念トークイベント	5/25
「折詰め会」 Vol. 105 テーマ:「包む」という言葉から連想されるもの・こと	5/27
緊急開催！「いまこそ学ぼう！避難地形時間地図『逃げ地図』ってなに？」	6/3
「福島アトラス：コンセプトを視覚化するグラフィックデザインの力」	6/13
乾久美子 × 小野田泰明 × 河東英宜 × 千葉学 × ヨコミゾマコト「釜石市・復興街づくりのデザイン」	6/16
「折詰め会」 Vol. 106 テーマ:「育児」	6/25
「東日本大震災とグッドデザイン賞 復興と新しい生活のためのデザイン」ギャラリーツアー	7/1
『未来都市はムラに近似する』刊行記念トーク：北山 恒 × 陣内 秀信 × 高橋一平 × 中川エリカ	7/3
多摩美術大学 TUB 企画展「医術と美術－テキスタイルを通じたデザインと医療現場の対話－」徹底解説！	7/6
「日本列島回復論：この国で生き続けるために」 「ひとの住処 1964-2020」著者対談：「ひとの住処の回復論」井上 岳一 × 隈 研吾	7/9
「折詰め会」 Vol. 107 テーマ:「地域」	7/21
TOTO ギャラリー・間「アンサンブル・スタジオ展 Architecture of The Earth」ギャラリーツアー	7/30
多摩美術大学 TUB企画展「マテリアル・デザイン・クッキング ～東レ株式会社×多摩美術大学 ウルトラスエード®の素材探究～」ギャラリートーク	8/25
「折詰め会」 Vol. 108 テーマ:「sketchbook（生き方）」	8/31
著者に聞く書籍「進化思考」のデザイン / ゲスト：太刀川英輔	9/8
「折詰め会」 Vol. 109 テーマ:「人生100年時代のキャリアデザイン」	9/22
TUB 第7回企画展「制約のデザイン 創造性を誘発する課題たち」オンライン ギャラリートーク	10/16
Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2021デザインタッチの歩き方 by 東京ミッドタウン・デザイン部	10/21
Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2021 オンラインカンファレンス Day1「Creators' Talk 豊田啓介氏 × 鈴木啓太氏 × 大日本タイポ組合」	10/26
Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2021 オンラインカンファレンス Day2「DESIGNART TOKYO 2021 Creators' Talk 進藤 篤氏 × M&T」	10/27

「折詰め会」 Vol. 110テーマ:「価値観」	10/29
もう一度「紙の地図」を持って街に出よう！／ ゲスト：皆川 典久氏	11/13
著者と楽しむ いろいろな波の世界／ ゲスト：原田佳夏氏／なかひらまい氏	11/17
「折詰め会」 Vol. 111テーマ:「生命」	11/22
『すみだモダン -- 手仕事から宇宙開発まで、“最先端の下町”のつくり方。』書籍出版記念トーク：すみだモダンのデザインを探る	11/25
江戸の紙切りあそび・紋切形ワークショップ	12/4
東京ミッドタウン・デザインハブ 企画展「Tama Design University」ギャラリーツアー	12/13
とらや 東京ミッドタウン店ギャラリー【とらやと楽しむ寅年】展 ギャラリーツアー	12/16
「折詰め会」 Vol. 112 テーマ:「NFTとデザインを考える」	12/21
【『ペットと暮らす住まいのデザイン 増補改訂版』刊行記念】著者に聞く「ペットと暮らす家」の極意 講師：廣瀬 慶二氏	12/22
多摩美術大学 TUB 第10回企画展「Creative Confluence ～人工大理石の探求」ギャラリーツアー	12/23
21_21 DESIGN SITGHT ギャラリー3 POP-UP SHOP REMOTE WORKS @ 21_21 01: 清水久和 (S&O DESIGN) ギャラリーツアー	12/24
「サーキュラーエコノミー実践に探る山水郷の未来」安居 昭博 × 井上 岳一	1/19
「折詰め会」 Vol. 113 テーマ:「幸福の栄養素」	1/26
ゼミ展2022：オンライン・ギャラリートーク Part 1 公立はこだて未来大学 + 名古屋造形大学	2/8
ゼミ展2022：オンライン・ギャラリートーク Part 2 東京都立大学 + 多摩美術大学	2/9
ゼミ展2022：オンライン・ギャラリートーク Part 3 富山大学	2/11
書籍『公民館のしあさって』出版記念トーク「公民館にまつわるコミュニティデザインとは？」	2/15
「折詰め会」 Vol. 114 テーマ:「良い問い・良い質問を考える」	2/16
書籍『だれにでもわかるNFTの解説書』出版記念 ＼ご視聴者の質問にお答え！／「足立さん、NFTってなんですか？」	2/22
書籍『ローカルクリエイター』出版記念トーク「これからの地方をつくるローカルクリエイターとは」	2/24
ミッドタウンの桜と緑を楽しむツアー	3/22
「折詰め会」 Vol. 115 テーマ:「最近面白かった本・映画」	3/22
書籍『木工旋盤の教科書』出版記念トーク「身近な木材で暮らしの器を作ってみよう」	3/28

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

東京ミッドタウン・デザインハブに設けられたインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターでは、国内外のデザイン関連機関やデザイン教育機関の事業の推進、各種のデザイン活動の促進、デザイン人材育成支援を目的とするセミナーやシンポジウム、ワークショップなどを展開している。

JIDA エコデザインワークショップ作品展（Next Eco Design展 2021）への会場貸出を行ったほか、主に会議や選考会等の非公開イベントの実施および配信会場として活用された。

自主的な配信企画としては、20-30代のデザイナー／クリエイターを対象に領域を超えた交流活動を行う一般社団法人デザインシップと連携し、配信企画「Dialogue by Designship with GOOD DESIGN AWARD」を新たにスタートした。

2021年度開催の主なセミナー、シンポジウム、ワークショップ

名称	実施日	実施主体
Dialogue by Designship with GOOD DESIGN AWARD	6/28, 8/24, 10/6, 1/19	一般社団法人デザインシップ
行政がデザインとつくる未来 企業と都市のブランド価値の創造	11/7	東大阪市
Caring Design Learning Labと Caring Design Expert 講座・検定 プレゼンテーション&セミナー	11/18	一般社団法人ケアリングデザイン
Next Eco Design展2021	12/10-12	日本インダストリアルデザイン協会 環境委員会
DIA2021受賞発表会・東京（配信）	12/17	一般社団法人日本デザインコンサルタント協会
TCL-多摩美術大学クリエイティブリーダーシッププログラム	1/15, 16, 22	多摩美術大学

GOOD DESIGN STORE・百貨店等との連携企画

グッドデザイン賞受賞商品の販売を通じた広報活動として、野原ホールディングス株式会社の経営による「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」や、百貨店等との売り場連携企画を展開している。

GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARAは、コロナ禍における生活提案に注力するなどしたが、長引く新型コロナウイルスの影響で旗艦店のある商業施設への客脚が戻らず、新宿、池袋等の商業施設への期間限定店舗の出店などに取り組んだ。

■GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA

丸の内店／KITTE 丸の内（常設）

新宿マルイ メン POP UP STORE（8/11～8/29）

池袋PARCO POP UP STORE（9/10～22/2/28）

西武池袋本展 POP UP STORE（10/23～11/8）

■Good Design Good Over 50's 暮らしのデザイン展2021

西武池袋本店会場 10/23- 11/8

主催：株式会社そごう・西武＋一般社団法人ケアリングデザイン

■第93回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2022／

LIVING&DESIGN pre-event（展示のみ）

東京ビッグサイト 22/2/8-2/10



GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA



Good Design Good Over 50's
暮らしのデザイン展2021



テレビ朝日系「グッド！モーニング」



TBS系「新井恵理那のWeather ニュースキャスター」

メディアを通じた広報

当会事業に関するメディア向け広報として、国内媒体宛にプレスリリースを13回配信した（内訳：グッドデザイン賞事業関連：6回、東京都事業関連：4回、その他事業：3回）。

受賞発表後に、テレビ朝日系「グッド！モーニング」、TBS系「新井恵理那のWeather ニュースキャスター」等でグッドデザイン賞およびベスト100選出対象に関する報道が行われた。

主要日刊紙における受賞連合広告特集は、11月に朝日新聞・日経新聞の本紙で掲載されたほか、雑誌「ブレン」でも2022年1月に特集が実施された。

ソーシャルメディア等による広報

ウェブプラットフォーム「note」で、受賞デザイン・デザイナーの取材記事の連載を通年で行うとともに、その内容をベースに、ビジネス人材むけのウェブ媒体「AMP」での連載を行うなど、より広範囲にグッドデザイン賞の情報が行き届くような広報活動を展開した。さらに、「Instagram」では毎日、グッドデザイン賞受賞対象を1日1件ずつ紹介する記事を掲載しており、フォロワー数を約2万人増の4.5万人に伸ばすなど、定着してきている。その他、「Facebook」、「YouTube」を活用し、さまざまなニーズに応じた他チャンネルによる情報提供を実施している。

受賞者プロモーション広告企画の実施

2021年度のグッドデザイン賞受賞者をフィーチャーするため、「Forbes JAPAN」における広告企画として、特設ページを制作。グッドデザイン大賞受賞者の対談、金賞およびグッドデザイン・ベスト100受賞者のインタビュー、2021年度正副委員長対談からなる全三回の記事広告を掲載した。

第1回 【対談】 外出困難者に真の居場所を提供する分身ロボットカフェが、2021年度グッドデザイン大賞を受賞
株式会社オリィ研究所 吉藤オリィ
オヤマツデザインスタジオ株式会社 親松実

第2回 【インタビュー】 さまざまなアプローチで社会を導く「よいデザイン」——2021年度グッドデザイン賞受賞例を紹介
コクヨ株式会社 鷲尾有美
ユニファ株式会社 浅野亜希子
貝印株式会社 鈴木曜

第3回 【対談】 デザインとは、よりよい社会をつくるための「道しるべ」——2021年度グッドデザイン賞審査委員長対談
2021年度グッドデザイン賞審査委員長 安次富隆
2021年度グッドデザイン賞審査副委員長 齋藤精一

アーキテクト・スタジオ・ジャパンとの協業

日本最大の独立経営建築家ネットワーク機関であるアーキテクト・スタジオ・ジャパン株式会社との間で、2017年から互恵的な広報連携を継続している。2021年度も会員向け定期媒体でのグッドデザイン賞受賞建築家の紹介の連載が継続されたほか、グッドデザイン賞の募集告知も同社ネットワークを介して実施された。

教育機関との連携企画

本年度もプロジェクトデザインで社会を変革する力を持つ人材育成を目指す事業構想大学院大学と連携し、月刊誌『事業構想』で「ビジネスデザイン」をテーマにした連載企画（2022年3月で44回目）と、教育業界を対象にした雑誌『先端教育』で、グッドデザイン賞を受賞したデザインを毎月紹介した（2022年3月で29回目）。また、宮城大学デザインスタディセンターと連携し、グッドデザイン賞受賞者による演習講座「Good Design Lecture」（本年で4年目）を博報堂クリエイティブディレクターの小野直紀氏を講師に招き、在学生向けに本年度も開催した。



④公共プロモーション事業

東京ビジネスデザインアワード

「東京ビジネスデザインアワード」は、東京都内のものづくり中小企業と優れた課題解決力・提案力を併せ持つデザイナーとの協働による、新しいビジネスモデルやブランドへの開発を目的とした、企業参加型のデザイン・事業提案コンペティションである。優れた技術力を持つ中小企業と企画提案力のあるデザイナーをマッチングさせ、新事業の実現・オリジナルブランド構築に向けた支援を行う。当会は主催元の東京都とともに、2011年度からこの事業の企画運営を担っている。2021年度は、東京都内の中小企業が持つ高い技術や特殊な素材を「テーマ」として募集し、審査の結果12件を選定した。これに対して全国のデザイナーから、新規用途開発を軸としたビジネス全体のデザイン提案を募集し、11件がテーマ賞として選ばれ、その中から最優秀賞1件、優秀賞2件を選定した。また、対象となった企業とデザイナーに対して、知財戦略・デザイン契約、広報戦略、販路開拓、デザイン開発導入のための講座などを、審査委員やプロジェクトマネージャーと伴走型で実施した。2021年度より山田新審査委員長のもと新たに宇南山氏、小池氏、坊垣氏の3名を迎え計6名の審査委員での新体制をスタートさせた。

■スケジュール

4月14日 開催概要発表・テーマ募集
7月13日 テーマ審査会
9月8日 テーマ発表・提案募集
11月10日 提案一次審査
11月30日 提案二次審査
1月12日 テーマ賞発表
2月8日 提案最終審査・結果発表・表彰式

■審査委員

山田 遊（バイヤー / キュレーター）審査委員長
石川 俊祐（デザインイノベーション）
宇南山 加子（デザイナー/ディレクター）
日高 一樹（特定訴訟代理人・弁理士 / デザインストラテジスト）
小池 美紀（PR/ コミュニケーションディレクター）
坊垣 佳奈（株式会社マクアケ共同創業者/取締役）

■最優秀賞・テーマ賞（1件）

提案：特殊印刷加工技術を応用したプロダクトと実験ブランド開発
歌代悟（株式会社博展）
株式会社新晃社（北区）

■優秀賞・テーマ賞（2件）

提案：光を使ったウェルネスプロダクトの提案
井下恭介、増谷誠志郎（SANAGI design studio）
泰興物産株式会社（立川市）

提案：資源循環を実現するサステナブル・アパレルブランド戦略
小林諒（株式会社Onesal）、上田和実・武市美穂（株式会社ナディア）
株式会社Rinnovation（文京区）



最優秀賞 特殊印刷加工技術を応用したプロダクトと実験ブランド開発



優秀賞 光を使ったウェルネスプロダクトの提案



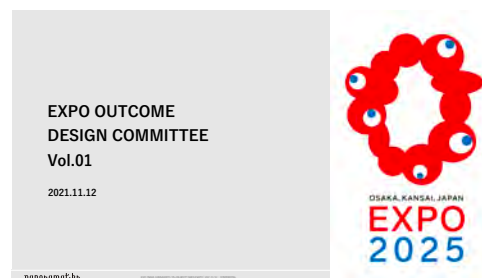
優秀賞 資源循環を実現するサステナブル・アパレルブランド戦略

神戸市との協力に基づく企画の実施

ユネスコデザイン都市である神戸市との間で「グッドデザイン神戸」として、例年グッドデザイン賞を題材に市民へのデザインの理解と浸透を支援する事業を実施している。2021年度は神戸電子専門学校のデザイン・建築専攻学生を対象に、最新グッドデザイン賞受賞事例を通じてデザインとユーザーとの関係の進化について講義を行った。

2025年大阪・関西万博への協力

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする2025年大阪・関西万博において実装すべき未来社会の姿を、デザインの視点から検討するため、2021年12月に「Expo Outcome Design Committee」が2025年日本国際博覧会協会内部に発足した。当会は協会からの要望に基づき、計5回の会議運営や情報発信に協力し大阪・関西万博の推進を支援した。また、前年の公式ロゴマークに続き、公式キャラクターデザインの応募及び審査に関しても協力を行った。



⑤人材育成推進事業

グッドデザイン・ニューホープ賞の設立準備

クリエイターを目指す大学・教育機関の学生、及び卒業・修了後間もないクリエイターのデザインの作品・プロジェクト・研究を審査・顕彰することにより、新たなクリエイティブ人材の発掘とキャリア蓄積を支援し、デザインを通じた新たな産業及び文化の発展に寄与することを目的とした新しいデザイン賞の立ち上げに向けて、準備を進めた。

2021年7月～8月にかけて、大学教員を務めるグッドデザイン賞審査委員経験者らにヒアリングを行い、大学教育の現場におけるニーズの把握を行った。その後、編成した準備委員会では、2021年10月より継続的にミーティングを実施し、グッドデザイン賞でこれまでに培ったノウハウを、新しい世代の人材育成支援にどう活かすかについて活発な議論が行われた。

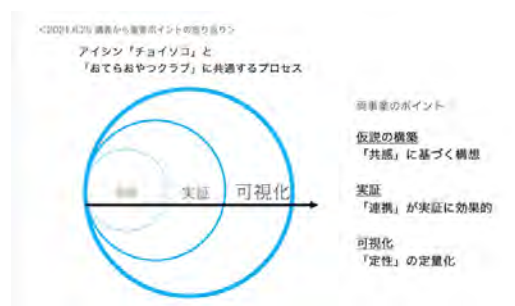
名称は「グッドデザイン・ニューホープ賞」とし、2022年5月11日より募集を開始する。



グッドデザイン・ニューホープ賞ロゴマーク

立教大学大学院における寄附講座の実施

立教大学大学院ビジネスデザイン研究科からの要請に基づき「デザイン経営」寄附講座を2021年6月から7月にかけて、計14回開講した。受講対象はMBA取得の社会人学生である。経営やプロジェクト推進にデザインを活かす意義を認識し、自ら創造的にそれを担える人材の育成を目的に、グッドデザイン賞受賞9社の経営者やプロジェクトリーダーによる講義を中心としたカリキュラムを編成。実践・実務的な視点から経営とデザインとの相関を理解する機会を提供した。なお本講座は2022年度も継続して開講の予定である。



⑥情報開発事業

60年以上にわたるグッドデザイン賞の運営によって蓄積されている情報資産とブランド価値を活用することによって、新規事業の立ち上げや各種事業の支援を行う。

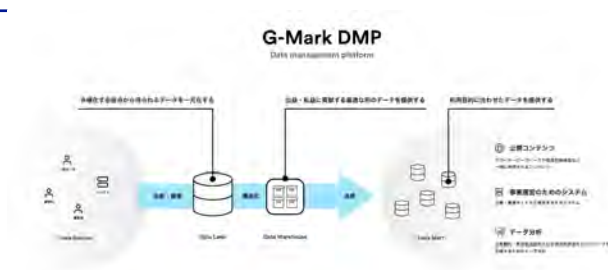
情報資産活用事業

これまで年度ごとに保管するだけで活用されてこなかったグッドデザイン賞の審査情報を過去にさかのぼって整備、審査情報アーカイブの構築を進めるため、デザイナーデータベースとのプラットフォームの共通化を前提にシステム整備、データ整備を進めた。



デザイナーデータベース事業

デザイナーデータベース構築にむけ、グッドデザイン賞事業全体のデータマネージメント・プラットフォーム (DMP) 基盤の構築を進めた。DMPの構築にあたり、各種モジュールを検討の上、開発を進め、同時にデータフローの検証、企業の名寄せのワークフローの検討を行った。これらによってデータパイプラインの基盤を構築、各種データソースから、前述の審査情報アーカイブまでにいたるデータフローを確立した。



2021（令和3）年度事業報告（総務・管理業務）

1. 会務の実施（役員会等の開催）について

（1）評議員会

回	日時・場所	議題等
第29回	2021年6月18日（金） 16:00-17:30 東京ミッドタウン・カンファレンス ルーム9	議題 ・2020（令和2）年度決算報告書（案）について（関連）特定費用準備資金取崩しについて ・理事の改選（案）について 報告事項 ・2020（令和2）年度事業報告書について ・グッドデザイン賞応募状況 その他
第30回	2022年3月17日（木） 15:30-17:00 WEB 会議 メイン会場：当会会議室	議題 ・2022 年度事業計画書（案）について ・2022 年度収支予算書（案）について ・人事（評議員の退任）について 報告事項 ・2022 年度グッドデザイン賞審査委員並びにグッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員委嘱について その他

(2)理事会

回	日時・場所	議題等
第 36 回	2021 年 6 月 3 日(水) 15:30-17:10 WEB 会議 メイン会場:インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター	議題 ・2020(令和2)年度事業報告書(案)について ・2020(令和2)年度決算報告書(案)について (関連)特定費用準備資金取崩しについて ・評議員会の招集(案)について 報告事項 ・今年度のグッドデザイン賞事業現況について ・理事改選について その他
第 37 回 (臨時)	2021 年 6 月 18 日(金) 対面及び WEB 会議 メイン会場:東京ミッドタウン・カンファレンス ルーム9	議題 ・代表理事及び業務執行理事の選定(案)について ・グッドデザイン・フェロー称号贈呈候補者(案)について その他
第 38 回	2021 年 12 月 14 日(火) 16:00-17:30 対面及び WEB 会議 メイン会場:インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター	議題 ・規程制定について(情報セキュリティ、固定資産管理) ・役員賠償責任保険について ・常勤役員報酬について 報告事項 ・2021 年度事業進捗状況について その他
第 39 回	2022 年 3 月 2 日(水) 15:30-17:00 WEB 会議 メイン会場:当会会議室	議題 ・2022 年度事業計画書(案)について ・2022 年度収支予算書(案)について ・2022 年度グッドデザイン賞審査委員並びに グッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員委嘱について ・評議員会の招集(案)について その他
第 40 回 (臨時)	2022 年 3 月 30 日(水) 書面及び電磁的記録による理事会	議題 ・公益財団法人日本デザイン振興会会長選任及び退任について

(3)会計監査等

①監事監査:2022 年 6 月 1 日(水)

目的: 2021(令和 3)年度事業報告書(案)、2021(令和 3)年度決算報告書(案)

②監査法人監査:EY 新日本有限責任監査法人会計監査

(期末監査)

2022 年 5 月 13 日(金)、14 日(土)、19 日(木)、20 日(金)、26 日(木)、28 日(土)、31 日(火)

当会会議室

目的:2021(令和 3)年度決算処理

(期中監査)

2021 年 10 月 11 日(月)、11 月 5 日(金)、12 月 6 日(月)、22 日(水)、

2022 年 2 月 17 日(木)、3 月 14 日(月) 当会会議室

目的: 2021(令和 3)年度会計処理

2. 賛助会員の現状について

2021年度末の賛助会員及び情報会員数は 178。(会費は広く公益事業に役立てている。)

近年は、会員企業等の経費削減や組織改編により会員数が漸減傾向にあり、2021 年度は 2 企業より退会届が提出された。

3. 後援、協賛事業について

2021年度に当会が後援並びに協賛、協力の名義を提供した外部企画は、36 団体延べ 39 件に協力している。当会の承認後に、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止された事業もある。

(1)供与先内訳

自治体及び その関連機関	デザイン専門団体	業界団体	民間企業	教育機関	海外機関	任意団体
12	10	6	8	0	3	0

(2)事業内訳

デザイン展	見本市	デザインコンペ	セミナー・ワークショップ等	その他
9	5	15	10	0

4. グッドデザイン・フェローについて

第 37 回理事会の議決により、下記 5 名に称号を贈呈。(敬称略)

大井 篤、市川俊英、加藤公敬、鄭 國鉉、渡辺直行

なお、新型コロナウイルス感染症拡大により、贈呈式の開催は見合わせた。

5. 業務管理・調整について(規程、内規、業務調整等の実施)

(1) 各種規程・内規等の新設及び改正

年月日	規程等	実施事項	概要
2021 年 6 月 15 日	新型コロナウイルスに係るワクチン接種を受ける場合等の勤務取扱い 内規	新設	新型コロナウイルスワクチン接種の加速が社会的に求められる中、当会として、ワクチン接種を推奨することの一環として、ワクチン接種時の勤務に関する取扱いを内規として制定。
2021 年 10 月 19 日	固定資産管理規程	新設	現状の運用(法規に基づいた経理での帳簿上の管理)を規定化。併せて実務のプロセスを規定。
2021 年 11 月 11 日	情報セキュリティに関する規程	新設	情報セキュリティの取組み強化に向けて制定。役職員向けにガイドブックを発行。
2022 年 1 月 1 日	JDP 情報セキュリティ基本方針	新設	社内体制整備、役職員の取組み、要求事項の遵守等をウェブサイトに掲載。
2022 年 3 月 8 日	コンプライアンス基本方針	新設	公益法人として、公正で適切な事業運営を実現し、社会的責任を果たすために、役職員の行動指針を定め、ウェブサイトに掲載。

(2) 各種業務調整

(JDP 勉強会)

2021 年度は、外部講師による DX をテーマとした勉強会を含め、9 回実施した。

(新型コロナウイルス感染症拡大に対する措置)

国、東京都の感染拡大防止に向けた取組みの協力要請に基づき、これまでの当会の取組みを継続して行い、職員への通達は 15 回実施。勤務については、緊急事態宣言期間是在宅勤務を 7 割、それ以外の期間 は 5 割で実施した。

6. 行政当局等による監査、立ち入り検査等について

2021 年度に実施された監査、検査はない。

7. 資産管理の現状

(1) 保有資産

国際事業基金有価証券(一般正味財産)の早期償還があり、入れ替えとして新規に購入した。また、投資有価証券(一般正味財産)として新規に購入した。評価額は、前年度末に対して、基本財産・特定資産において減少、投資有価証券においても減少した。運用利息は、前年度と同程度であった。

(2) 基本財産・特定資産の構成割合と評価額・運用利息

	資産割合			評価額(円) (3.31.現在)	利息(円) (年間)
	預金	仕組債	国債・地方債・社債等		
2017 年度	6.5%	10.2%	83.3%	1,545,532,110	23,005,900
2018 年度	3.6%	7.5%	88.9%	1,590,424,620	22,577,322
2019 年度	3.1%	6.5%	90.4%	1,581,673,430	21,801,972
2020 年度	3.2%	6.5%	90.3%	1,546,854,820	23,413,060
2021 年度	3.3%	5.9%	90.8%	1,492,527,410	20,068,589

8. 国内外におけるGマーク関連商標登録の現状

商品分野における「G マーク」商標登録(一部商標については、2020年4月に10年間の権利期間更新)に加え、役務サービス分野の第35類(優秀デザインに関する広告、宣伝)及び第42類(優秀デザインに関する募集の管理、審査選定)における「G マークとロゴタイプの組合せ」による商標登録を積極的に取り組んだ。

(1) 国内

- ①「G マークとロゴ GOOD DESIGN」商標について、2012年1月に第42類を登録するとともに、新たに第35類を申請し、2020年10月に登録済み。
- ②2021年9月に「G マーク」商標登録していない14区分に防護標章(著名商標)登録申請し、現在審査中。
- ③「JDP」商標については、リクルートマネジメントソリューションズ社との間で、第41類(セミナー、講演会等の実施)における商標使用許諾契約を2021年3月に更新し、5年間延長(2026年3月末まで)するとともに、「シンボルマーク+JDP(日英名称)」を第9類(電子出版物)、第35類及び第41類で申請し、2022年3月登録済み。

(2) 海外

中国、韓国、ドイツ、シンガポール、タイ、香港、台湾において、商品分野の一区分における「G マーク」商標登録に加え、第35類及び第42類における「G マークとロゴ GOOD DESIGN」(中国以外の国)、「G マークとロゴ GOOD DESIGN AWARD」(中国のみ第42類申請。なお、第35類は2018年2月に登録済み)を申請し、トルコ、ドイツ、シンガポール、香港、台湾において、「G マークとロゴ GOOD DESIGN」を2021年9月に登録済み、アメリカ、インドネシア、タイ、韓国は審査継続中。

なお、インドについて、本願商標は特徴的ではなく、自他サービス識別機能を有していないことを理由に拒絶査定。また、中国について、先行商標と本願商標とは非類似として認めたものの、単なる品質表示的な商標として拒絶査定。

9. 業務効率化、DXの推進

本年度よりDXに精力的な取り組みを開始し、情報システム化戦略、方針、中期戦略(2022年～2024年)を策定するとともに、情報資産管理の本格的運用を開始し、セキュリティソフトの本格導入を行った。

また、来年度は業務システム開発に集中して取り組む予定であり、長年懸案となっていたグッドデザイン賞国内審査料請求業務のアウトソーシングも来年度から実施予定。

- ◆2021年：現状把握、課題整理、対応策立案、IT中計立案。
- ◆2022年：情報共有、経費精算、承認・回覧業務の改善。

分類	2021年		2022年		2023年
	上	下	上	下	
主要事業日程	応募、1次・2次審査	発表・表彰	応募、1次・2次審査	発表・表彰	応募、1次・2次審査、発表・表彰
事業PF	業務洗出し(請求・精算業務中心)	基本設計	基本設計	詳細設計(DMP+DDB+PDB)、若手人材育成対応等	
経営PF 【先行着手】	業務洗出し あるべき 業務策定	全体計画 予算化	基本設計 詳細設計 インプリ テスト 経費精算・ワークフロー系 マイナンバー管理系	移行・本番稼働 NP社以外請求・入金対応 謝金・アルバイト、賛助会員対応	
法人PF	Web会議改善		コラボツール系(Box) 詳細設計 インプリ 移行・本番 コラボツール系(Garoon) 詳細設計 インプリ 移行・本番	クラウドPBX 電子契約、電子サイン、印鑑	
ITガバナンス	現状調査 IT戦略立案	IT中計策定 ▲予算化	IT中計逐次見直し ITセキュリティガイドライン	ネットワーク改善 詳細設計 工事・切り替	